



超我の奉仕

2005～2006年度
国際ロータリーのテーマ
超我の奉仕

2005～2006年度
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

Weekly Report

創立：1980年(昭和55年)1月10日
会長：守谷 巖樹
幹事：鈴木 幹雄
会報委員長：長坂 邦雄
例会日：毎週木曜日 PM12:30～
会場：ヒルトン名古屋
事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3
ヒルトン名古屋910号
TEL:052-211-3803
FAX:052-211-2623
MAIL:2760nagoya@mizuho-rc.jp
URL:http://www.mizuho-rc.jp/

▶ 第1254回例会

～家族月間～

2005年12月15日(木) 晴 第22回

司会：(吉木洋二会場委員)
体操：ストレッチング(堀 慎治会場委員)
唱歌：和：「四つのテスト」(田中隆義職業奉仕委員長)
斉唱：「それでこそロータリー」
ゲスト：ハンガー・フリー・ワールド
ウガンダ支部事務局長 バッテ・フレデリック氏
ウガンダ支部担当 吉田千代子様
(倉澤 寛親睦活動委員)

▶ 会長挨拶 守谷巖樹会長

お釈迦様の誕生日は、4月8日です。その日は「灌仏会」といわれ、お釈迦様に甘茶を注ぎかける儀式があります。私は、戦前片田舎で育ちました。4月8日は“お釈日さん”とか“花祭り”と呼ばれ、その日は学校に行く前に近所の子供が誘い合っ、お寺に出掛けました。花で飾られた小さな花御堂に安置されたお釈迦様に甘茶をかけ、手を合わせ、帰りに甘茶をもらって帰ったものです。その頃大人から教わったことを申し上げます。なぜ甘茶をかけるのか？それは、お釈迦様が生まれた時、天から竜が下りてきて、甘露の雨を降らせたという言い伝えからです。甘茶をかけるお釈迦様の像は生まれたばかりなのに、なぜ天と地を指さしているのか？それはお釈迦様は生まれてすぐ、天上天下唯我独尊と言ったということなどです。昔は大人も子供もお釈迦様は身近にいたものです。その後、生地を離れてから4月8日にお寺にお参りに行った記憶がありません。お釈迦様については残念ながらその頃教えられた知識以上に増えていないようです。何時かこの挨拶で、鍛冶屋の世界では不良品を作ること、お釈迦を作るとか、お釈迦になった、と言うと申しましたが、その語源はいくつかあり、定かではありません。私は昔の日本の職人の物づくりに対する心から来たものではないかといいました。今日はお笑いの1つとして、これとは違った語源の1つをお話します。鍛冶屋の仕事では火が強すぎると不良になります。“火が強かった”がなまって“シガツヨカ”。4月8日はお釈迦様の誕生日です。そこでお釈迦と洒落たそうです。この話はお釈迦にして下さい。



▶ 幹事報告 鈴木幹雄幹事

- ・12月1日(木)第6回理事会にて、ハンガー・フリー・ワールドを通してウガンダ共和国名古屋瑞穂RC記念小学校へ井戸建設資金として420,025円をニコボックスから拠出することが承認されました。
- ・同理事会にて、ロータリー財団へ1人あたり50ドル、総額442,500円をニコボックスから拠出することが承認されました。
- ・本日メールボックスに、2月28日の4RC合同例会の案内が入っております。ご返事をお願いします。
- ・次週12月22日(木)は上期反省会です。名古屋国際ホテル「若竹の間」にて18時開会です。
- ・次週例会前17時30分から臨時理事会を行います。理事の皆様はご出席ください。

▶ 臨時例会変更のお知らせ

名古屋西	12/29(木)※	1/5(木)※		
名古屋南	12/28(水)※			
名古屋北	12/30(金)※			
名古屋東	12/26(月)※		1/9(月)※	
名古屋守山	12/28(水)※	1/4(水)※		
名古屋みなと	12/30(金)※	1/6(金)※		
名古屋東南	12/28(水)※	1/4(水)※		
名古屋中	12/26(月)※			
名古屋和合	12/28(水)※	1/4(水)※		1/18(水)
名古屋名東	12/27(火)※	1/3(火)※	1/10(火)	
名古屋名北	12/28(水)※	1/4(水)※		
名古屋千種	12/27(火)※	1/3(火)※	1/10(火)	
名古屋栄	12/26(月)※	1/2(月)※	1/9(月)※	
名古屋名南	12/27(火)※	1/3(火)※	1/10(火)◇	
名古屋名駅	12/28(水)※	1/4(水)※		
名古屋昭和	12/26(月)※	1/2(月)※	1/9(月)※	1/16(月)
名古屋西南	12/29(木)※	1/5(木)※		1/19(木)
名古屋錦	12/27(火)※	1/3(火)※	1/10(火)	
名古屋東山	12/29(木)※	1/5(木)※	1/12(木)	
名古屋空港		1/2(月)※	1/9(月)※	1/16(月)
あま	12/26(月)			
西春日井	12/27(火)	1/3(火)※		
尾張中央	12/28(水)※	1/4(火)※		1/18(水)
豊山一城北	12/27(火)※	1/3(火)※		
一宮中央		1/4(火)※		
名古屋葵	12/29(木)※	1/5(木)※		

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◆はサイン受付時間が17:00～18:00となります。
◇はサイン受付時間が17:30～18:30となります。

▶ 出席報告 落合 諭出席委員長

会員75名 出席51名 (出席計算人数55名)

出席率70.91%
12月 8日は補填により 87.27%
12月 1日は補填により 92.73%
11月24日は補填により 96.36%

▶ ニコボックス 岡村達人ニコボックス委員

- ・1) 今月9日は小生の誕生日でした。また、12月25日は妻の？オの誕生日です。また、恒例の12月31日大晦日コンペ、セント・クリークを押さえたので参加出来る方はよろしく。
- ・2) 昨日の瑞穂ゴルフコンペ、及び懇親会を欠席致しました。内田幹事はじめ、皆さんにご迷惑をおかけ致しました。恐縮です。

大和 哲郎君

- ・ゴルフ同好会幹事さん、有難うございます。忘年会出席出来ずご無礼致しました。 **松岡 道弘君**
- ・ハンガー・フリー・ワールドの吉田さんと、バッテ・フレデリックさんに出席いただいて。 **大島 浩嗣君**
- ・1)昨日のゴルフ会・忘年会は発熱のためドタキャンを致しました。内田君、堀君をはじめ、関係者に大変ご迷惑をおかけして申し訳なく思っております。
- ・2)本日はハンガー・フリー・ワールドウガンダ支局長フレッドさんと、東京から吉田さんをお迎えて。 **野崎 洋二君**
- ・遠山さん、昨夜は素晴らしいオペラありがとうございました。感謝 **小串 和夫君**
- ・風邪が治りません。 **内田 久利君**
- ・長い間欠席しました。やっと出席出来るようになりました。 **山田 鎮浩君**
- ・今年も残り少なくなりました。厳しい寒さが続きます。体に気をつけましょう。 **岩本 成郎君**

▶ 小学校寄付への御礼の言葉

**ハンガー・フリー・ワールドウガンダ事務局長
バッテ・フレデリック氏**
(通訳:ハンガー・フリー・ワールドウガンダ支部担当吉田千代子様)

名古屋瑞穂ロータリークラブ会長様並びに会員の皆様、こんにちは。前回こちらのクラブを訪問しました際には、ウガンダの貧困と飢餓の状況についてお話しをしました。状況はとてひどいもので、皆様からの支援を必要としておりました。そして皆様は積極的にそのアピールに応じて下さり、今日私はここで直接皆様に感謝の言葉を伝えられる事を、とても嬉しく思っております。そして大島さん、野崎さんお二人がクラブを代表して、この小学校を子どもたちの両親に引き渡すために来て下さいました。皆様は、元々竹などで作られていた校舎から、新しく近代的になった校舎を写真でご覧になった事と思います。以前は、学校に男女別のトイレもなく、また学習環境も非常にひどいものでした。草葺きの屋根でしたので、雨が降ったら授業を辞めざるをえませんでした。ですが今日ではトイレも男女別になり、子どもたちは席に着いて勉強をすることができます。今私たちに残された仕事は、この学校が政府の「万民のための初等教育プログラム」に登録され、公立の小学校として認めらる事です。そしてもうすでにこの申請書は政府へ提示されております。ですから遅くとも来年の3月までには、申請が通ると思っております。また、申請の許可がおりましたらすぐ皆様にご報告させていただきます。この政府の「万民のための初等教育プログラム」に登録するという事は、政府が教員の資格を持った教師を派遣し、また、この先生方の給料を支払う責任を負うという事を意味しております。そしてまたこれは、政府の支援により生徒たちの親が授業料を支払わなくてもよいという事を意味しております。そしてこの事は貧しい生徒たちの両親にとっては大きな救いとなっており、生徒の両親たちからは是非瑞穂RCの皆様へ感謝の意をお伝え下さい、と言われております。そしてまたクラブから井戸をご寄付いただきました村の住民たちも、皆様に心からの感謝の意をお伝えしたいと申しておりました。そしてまた、瑞穂RC様から新たに井戸を1基、会員の皆様から個人的に井戸を1基寄付して下さいと言う事を伺いまして、私どもは非常に感謝しております。最後になりますが皆様へお願いしたい事があります。只今ハンガー・フリー・ワールドでは会員拡大キャンペーンを行っております。もし可能であれば、皆様に個人としてもウガンダを支援するハンガー・フリー・パートナー・ウガンダになっていただきたいと思います。ハンガー・フリー・パートナー・ウガンダになっていただきますと、年に4回ウガンダからの報告が皆様のもとに届きます。また現在、キャンペーン期間中ですので、会員になられた方にはウガンダコーヒーを1袋進呈いたしております。皆様本当に有難うございました。



▶ 第3回クラブフォーラム

議長:守谷会長 進行:鈴木幹事

それでは、第3回クラブフォーラムを開催させていただきます。

▶ 2006~2007年度理事・役員案承認の件

次年度幹事予定者の天野正明君より、次年度理事・役員案について以下の3点の付帯事項をつけて提案され、審議後満場一致で承認されました。

- (1) 新世代委員会とローターアクト委員会は委員長を兼任とする
- (2) 例会における卓話の重要性を考えプログラム委員長を理事に加える
- (3) 過去においては、次々年度の役職が既に決まっているかのような慣例があったが、今後は適材適所を第一に、総合的な観点から判断して役職を決定する

2006~2007年度クラブ役員理事構成			
会 長	遠 山 堯 郎	役 員	
副 会 長	水 谷 由 紀 夫	役 員	
会 長 エ レ ク ト	岩 本 成 郎	役 員	
直 前 会 長	守 谷 巖 樹		
幹 事	天 野 正 明	役 員	
会 計	平 野 哲 始 郎	役 員	
S . A . A	大 島 浩 嗣	役 員	
副 S . A . A	岩 根 敬 泰		
副 幹 事	西 本 哲	理 事	
クラブ奉仕委員長	長 瀬 憲 八 郎	理 事	
職業奉仕委員長	佐 藤 一 郎	理 事	
社会奉仕委員長	田 口 豊	理 事	
国際奉仕委員長	岩 田 修 司	理 事	
会員選考委員長	鈴 木 幹 雄	理 事	
親睦活動委員長	内 田 久 利	理 事	
新 世 代 委 員 長	高 須 洋 志	理 事	
ローターアクト委員長	高 須 洋 志 (兼)	理 事	
会 場 委 員 長	高 木 勝	理 事	
R 財 団 委 員 長	吉 木 洋 二	理 事	
プ ロ グ ラ ム 委 員 長	入 江 理	理 事	



2006-07年度 理事・役員

▶ 下期行事予定表変更の件

2005~2006年度下期クラブ行事予定表の中で、5月18日の新旧理事会ならびにクラブアッセンブリーを4月20日に、6月8日の次年度予定者会議を5月18日に変更していただきたいと、次年度会長、幹事より要望があり、審議後満場一致で承認されました。

▶ 2006~07年度会長挨拶:遠山堯郎次年度会長

ご紹介を頂きました2006年~07年度、会長を務めさせていただきます遠山堯郎と申します。今日発表されて、責任の重さを感じている次第です。浅学非才ではございますが幸いにも役員・理事に良いスタッフを選んでいただきましたので、できる限り一生懸命頑張りたいと思います。よろしくご支援のほどお願いします。有難うございました。

上期反省会

出席委員会:亀井直人副委員長

メイキャップを積極的にして、100%を目指して頑張ってください。

職業分類委員会:高村博三委員長

職業分類は会員増強と会員選考と大変関連のある委員会です。現在入会を検討している方がおりますが、両委員会と検討の結果、私も推薦人の一人になりましてサインを致しました。職業分類については歯科医ですので、項目を増やして対応を致します。

会員増強委員会:松波恒彦委員長

職業委員会の委員長が申しました通り、会員増強委員会として一人推薦させて頂いております。理事会のご判断をお願い致します。

会員選考委員会:稲葉 徹委員長

先ほど職業分類の高村さん、会員増強の松波さんがおっしゃいましたが、上期ごさいませんでしたので、下期1人入会予定の方がお見えだと言うことで、選考させていただきたいと思っております。

クラブ会報委員会:長坂邦雄委員長

今回の会報で21回目となります。皆様方のご協力、事務局の方々、メディアアートのご協力で制作してまいりました。いろいろ都合の悪いこともあるかと思いますが、ロータリーの友情に免じてご容赦願いたいと思っております。残る下期、よりよい会報にすべく、皆様方のご協力を頂きますようよろしくお願い致します。

親睦活動委員会:伊藤 豪委員長

上期の反省会を来週行います。続きまして創立記念例会は新年早々行われますので、皆様ご協力をよろしくお願い致します。

プログラム委員会:入江 理副委員長

特に問題もなく順調に進行しております。

R情報委員会:大島浩嗣委員長

今年度上期について、新入会員研修会はまだ予定者がおりませんので行いませんでした。ただ今年度、R情報は広報・雑誌を兼ねる意味で、「ロータリーの友」の記事につきまして、若干皆さんに目次等ご紹介して、少しでも興味を持っていただくことに務めております。それから広報につきましては、先々週の例会でも発表があったかと思いますが、12月号にウガンダ共和国での小学校の引渡式の写真が1ページに大きく取り上げられました。まだ見ていない方におかれましては1度お目通しを頂けたらと思います。なお、先ほどの会員増強委員長のお話で、下期については新入会員候補がお見えになるということで、入会され次第、新入会員の研修会を実施したいと思っております。

会場委員会:堀 慎治委員

上期の例会運営が支障なくできましたことは、皆様のご協力のおかげと感謝しております。下期も精一杯頑張ってスムーズな例会運営に努力いたしますのでよろしくお願い致します。

職業奉仕委員会:田中隆義委員長

11月に職場例会を「くすり博物館」にて行いました。皆様ご協力・ご参加有難うございました。あと、職業奉仕委員会としては下期に職業表彰が残っております。これから下期に向けて選考したいと思います。

社会奉仕委員会:高須洋志委員長

予算30万円でスタートいたしました。上期が終わりまして予算を約11万7,000円残して消化いたしました。寄付金が主ですが、市内の23ロータリーに対して7万5千円、瑞穂区の防犯協議会に対して3万円、熱田区の防犯協会に対して2万円。それから4ロータリーで行っております名古屋南養護学校に対する寄付金5万円。いずれも予算化する段階でご承認を頂いておりますが、以上を実際に寄付させていただきました。その都度理事会報告としてされているかと思いますが、まとめてご報告いたします。下期にはそういった意味での寄付金はございません。それから委員会としての活動ですが、できるだけ委員間の親睦を図る意味合いも兼ねて、社会奉仕関係の4委

員会で、夏と年末の忘年会を集まって行いました。委員会も2ヶ月に1回開催しようと言うことで、今までに2回実施しております。来年になりましても頑張って活動してまいります。

環境保全委員会:田中政雄委員長

11月30日にホテルの飼育説明会、12月6日に幼虫の選別において、当クラブからもたくさんのお手伝いを頂きました。12月9日に各小学校へ、16匹ずつ幼虫の配布を行いました。各小学校からは、幼虫を30匹ほどほしいとの要望があり、次年度は是非とも数を増やしていただけるように熱田神宮の関係者をお願いを致しました。また皆様のご協力をよろしく願います。

新世代委員会:岩本成郎副委員長

今のところ前回より大幅な変化はございません。

国際奉仕委員会:加納 裕委員長

10月末に台北延平RCと来年29周年の打合せを致しました。前回にお出したアンケートの結果、来年の台北延平RC29周年式典へは15名ほどの参加希望者が集まっております。また、来年の国際大会につきましては、現在のところ希望者が1名います。

R財団委員会:西 初彦副委員長

先ほど幹事よりご説明がありましたが、R財団に寄付をさせていただいております。

米山奨学委員会:田中英雄委員長

当クラブの米山奨学生の金 玫植君が、12月1日にカウンセラーの増田盛英君からご報告がありましたように、農学博士号を取得いたしました。次回12月22日の上期反省会に金君が出席されます。またその日には担当の教授である竹中千里教授がご出席されるそうなので、よろしく願いいたします。カウンセラーの増田さんにはご尽力いただき、この場を借りて感謝申し上げます。

長期ビジョン委員会:大島浩嗣委員長

瑞穂RC26年目に入り、今年度から新しく始まった委員会ですが、向こう3年、5年、10年位の長期的なビジョンを作成するために、上期に2回委員会を開催いたしました。第3回目は1月26日に開催し、時間は午前11時～12時となっております。今年度中に合計4回委員会を開催して、それまでのまとめをしていきたいと思っております。なお、長期ビジョンにつきましては、来年度も継続しますので、次年度委員になられる方々に、瑞穂RCをよりよくすべく、お考えいただきたいと思っております。

ロータリーワールド

新世紀初の国際大会への登録はお早めに

2006年6月11日～14日にスウェーデンのマルメとデンマークのコペンハーゲンで開催される2006年RI国際大会に出席をご予定のロータリアンの皆さまには、できるだけお早めに登録をされることをお奨めいたします。その理由は二つあります。一つにはロータリーの新世紀はじめの年次大会に計画されている刺激的な行事や活動に参加できること、もう一つには一番乗りで2カ国共催の厚いもてなしを受けられることです。12月31日までに登録をされた方には、登録割引を受ける資格が与えられます。団体でお部屋をご予約の場合も、同日までにご提出ください。その他の重要な期日は次の通りです。

- ・RIのホテル割引料金での予約および団体予約の部屋の変更もしくはキャンセルは2006年2月28日までです。
- ・国際大会の事前登録と非公式関連行事の主催申込書式の提出は2006年3月31日までです。

ロータリアンの出身国によっては、デンマーク入国に際し、シェンゲン・ビザの入手が必要になります。シェンゲン協定に指定される国の一覧表を含め、ビザの入手方法などについての詳細は、デンマーク入国管理局のサイトwww.udlst.dk/english/visa/default.htm (英語)をご参照ください。登録の確認と合わせて、ビザの入手を希望する登録者への招請状が提供されます。ビザが必要な場合は、当局が手続きに十分な時間を取れるよう、12月31日までに登録を済

ませることをお奨めします。

ホスト組織委員会の要チケット行事(値段の単位はデンマーク・クローネ(DKr))には、次のような行事が含まれています。国際大会ワールドカップ・ゴルフ(6月8日～9日、6,100クローネ)、ノーベル晩餐会(6月8日～10日、12日、2,400クローネ)、国際大会マッチレース(6月10日、3,000クローネ)、ホスト・ホスピタリティのタベ(6月12日、60クローネ)、チボリの一日(6月10日、625クローネ)、スウェーデンのタベ(6月13日)。

また、国際大会前後には、各種ツアーが企画されており、マルメおよびコペンハーゲンはじめ、北欧の主要都市、グリーンランド、バルト諸国などの目的地を旅するオプションもあります。また、国際大会前後に予定されているホームステイ・プログラム(120クローネ)は、本大会参加者が、北欧ヨーロッパのロータリアンの家庭で数日間を過ごせるという希な機会です(ヨーロッパ圏外のロータリアン優先)。これらの行事のチケットはすべて先着順となっていますので、登録はなるべく早めにお済ませください。

www.rotary.orgにて、オンライン登録、登録書式のダウンロード(ロータリー公式言語全9カ国語にて入手可能)ができ、国際大会プログラムや行事の最新情報もお読みいただけます。

オーレスン(Øresund)橋によって結ばれる2006年RI国際大会の主催都市、マルメとコペンハーゲン



WWW.IMAGEBANK.SWEDEN.SE ©ジャン-エリック・アンダーソン/マルメ・ツーリズム

会員勧誘と退会防止に独創的なアイデアを打ち出したクラブ

新会員を惹きつけ、入会後もロータリーへの関心を維持させるには、時に、ほんの些細な事が大いに有効となる場合があるものです。

米国ウィスコンシン州のマーシュフィールド・ロータリー・クラブの場合、例会で丸テーブルを使用することにより会員の交流を促したり、クラブ週報に会員のEメールアドレスを掲載するといった些細なことで、2004-05年度中に14名の新会員を入会させることができました。ブラジルのミナス・ジェライス州のクルベロ・ベラ・ピスタ・ロータリー・クラブは、活発な例会、会員の誕生日や結婚記念日の発表、配偶者や子供のプロジェクトへの参加、そして常に時間通りに始めるといったことが、クラブの会員数成長に寄与したと考えています。

イタリアのアクイ・テルメ・オバダ・ロータリー・クラブは、「分ける」ことによって「増やして」います。このクラブは、同クラブの会員だった16名にさらに4人の新会員を加えて、新クラブ、オバダ・テル・チェンテナリオ・ロータリー・クラブを結成したのです。この分割によって、双方のクラブに新たな息吹がもたらされました。アクイ・テルメ・オバダ・ロータリー・クラブには職業分類の空きがで、そこに新たな会員を充填できるようになりました。

多くの人々は個人的満足感を得るためにボランティア団体に入会すると信じているブラックタウン・シティ・ロータリー・クラブ(オーストラリア、ニューサウスウェルズ州)では、「ロータリーに入会すればどんな恩典が得られるのか」という質問に答える勧誘キャンペーンを考案しました。このプログラムの一環として、入会見込者をクラブに招き、1人につき3人のクラブ会員と面談してもらいました。その面談において、会員がクラブに入会して得られたものについての個人的な体験談を話して聞かせたところ、会員が約20名純増する結果となりました。

これらは、2004-05年度RI会員増強推進計画の表彰に提出された131の方策のほんの数例にすぎません。この賞は、勧誘や退会防止、新クラブの結成の分野で、新しく、効果的な方策を立案したクラブの努力を表彰するものです。

～12月は家族月間～

田舎町の一家族を国際人に変身させた青少年交換の体験

「ロータリー青少年交換プログラムのおかげで、世界がグンと縮まりました」と言うのは、プログラムを通じて家族と国際的な経験をえたパット・ガロフォロさんです。

パットさんとご主人のギャリーさんはホストファミリーとして、また息子のグレッグさんは交換学生としてこのプログラムに参加しました。これがきっかけとなり、片田舎に住む一家族が、今では地球のあちらこちらに友情の輪を広げ、国際色豊かな家族へと変身を遂げました。しかし、ブラジルのフェハース一家との仲は中でも特別なもので、血を分けた家族同様の関係だと言います。1987年、交換学生としてマルシオ・フェハースさんを迎えて以来、米国インディアナ州に住むガロフォロ一家は、マルシオさんだけでなく、彼のブラジルの家族とも親戚同然の間柄となりました。「ブラジルでは叔父母も従兄弟も友達もすべてが大切な人々」なのだ、と、パットさんは説明します。

すべては、18年前にグレッグ・ガロフォロさんさんが、交換学生としてオーストラリアに留学することになってから始まりました。青少年交換活動にいそんでいたグレッグさんは、ブラジルから同じく交換学生としてインディアナ州にやって来たマルシオさんと仲良くなりました。急速に親しくなった二人の青年ですが、グレッグさんはオーストラリア行きを目前に控え、少ない残り時間をいっしょに過ごそうと、グレッグさんは両親に頼み込み、マルシオさんが自分の家にホームステイできるよう計らったのです。

その後、ガロフォロ一家はホストファミリーとして、マルシオさんの二人の弟、クラウディオ君とエドワルド君を受け入れることになりました。フェハース家の青年たちの受け入れがすっかり終了して8年近くが経ちますが、両家の親しい交流は今も続いています。パットさん夫妻は、フェハース家の三人の青年たちの結婚式に出席し、フェハース一家もアメリカに来てグレッグさんの結婚式に出席しました。

「この絆がずっと続いていくと信じています。この思い出を大切に、生まれてくる孫たちの世代もロータリー青少年交換の大家族として育ててくれることを願っています。国際ロータリーのおかげだと感謝しています」と、パットさんは語りました。



1999年、ブラジルで行われたマルシオ・フェハースさんの結婚式で再会するガロフォロ一家とフェハース一家。ロータリー青少年交換学生として親しくなった、グレッグ・ガロフォロさん(右端)とマルシオさん(左端、パット・ガロフォロさんと共に)

今週行事

12月22日(木)

夜間例会(上期反省会) : 18:00より

於: 名古屋国際ホテル 「若竹の間」

次週・次々週予定

12月29日(木)・1月5日(木)

休 会 : (R規定に基づき)

次回予定

1月12日(木)

創立記念例会 : 18:00より

於: ヒルトン名古屋 28階

「ウィンドーズ・オン・ザ・ワールド」